車輌運用管理プログラム

操作説明書

Copyright ©1999-2014 マァート・ハイシステム有限会社 All Rights Reserved Manual Rev. 4.5

マァート・ハイシステム有限会社

はじめに		5
使用許諾書		6
サポートサービ	ス説明	9
第1部	インストール	
1.1 動作環境	竟について	13
1.2 インスト	トールの仕方	13
1.3 起動と約	终了	15
1.4 用語説明	归	16

第2部

2.1	導入時の各種設定について	19
2.2	運転者マスターなど	19
2.3	基本情報	22
2.4	データ削除	25
2.5	データバックアップ保存	25

導入

第3部 車輌管理

3.1	車輌データ入力	27
3.2	検索・帳票	31
3.3	車輌有効期限画面	33
3.4	車輌履歴登録	34
3.5	集計帳票選択	36

第4部

運転走行管理

4.1	運転走行データ入力	38
4.2	走行データ検索	40
4.3	月間集計	41
4.4	年間集計	42

第5部 5.1 概要 予定・実績

5.1	概要	44
5.2	週間予定	45
5.3	予定パターン作成	48
5.4	月間勤務予定	50
5.5	運転便数実績入力	52

第6部 記録帳

6.1	概要	55
6.2	データ入力	55
6.3	データー覧表	55
6.4	検索・印刷条件	56
6.5	分類コード、出典コード	56

ご注意

「はじめにお読みください」説明書ではインストール説明とデータバックアップ説明に説明 用の架空名称を使用しています。実際に使用するにはそれぞれを下記名称に読み替えてください。

実際に操作すれば下記正式名称で表示しますので問題ありません。 お客様がご購入されたプログラムは

マァート車輌運用管理プログラム です。

標準フォルダー名で C:¥HighSystem¥一般 と表示してあるところは

C:¥HighSystem¥プチ¥走行 です。

またプログラムの名称で説明用.mdb と表示のデータ処理プログラムは

EXVDM03.mdb

です。

データバックアップされるデータファイル名で架空 DF.mdb と表示してあるところは

VHDF.mdb

です。

データバックアップ先のファイル名で説明用データ BU.MHC と表示してあるところは

TRS データ BU.MHCA

です。

また日付保存でのバックアップファイル名は

TRS[年数字 4 桁-月日数字 4 桁-時刻数字 4 桁].MHCA です。

(例 2014年4月1日の午後3時2分なら TRS2014-0401-1502.MHCAとなります。) 注意 メインメニューから「マスター管理」「データバックアップ」「復元」で TRSsamp.MHCAを選択復元するとサンプルデータをみれます。また TRS 初期化空.MHCA を復元すると出荷時データになります。これらを復元する前に自分で作成したデータは別の名 称であらかじめ保存してください。なおサンプルデータの内容、名称等はすべて架空のもので 実在するものでも実在する現象でも事実でもありません。そのデータに責任を持つことはあり ません。

似たものがあるとしたら偶然の一致です。

はじめに

このたびはマァート車輌運用管理プログラムをお買い上げいただきまして、ありがとうございました。このプログラムは、最新のデータベースエンジンをもとに開発された Windows Vista/7/8/8.1 対応の、自動車データ管理に関連した業務をカバーしたソフトウェアです。(Windows XP 以前の古い Windows での動作保証しておりません。)

マウス操作を多用した高い操作性を持っています。

画面の文字も大きく読みやすくなっています。

どうぞこのマァート車輌運用管理プログラムを充分に活用し科学的車輌管理にお役立てく ださい。

またお客様に最適なカスタマイズ(別途料金)も可能ですのでぜひご用命ください。

マァート・ハイシステム有限会社

ご注意

・この説明書に記載されている記載事項、ソフトウェアの仕様、機能は将来、予告なく必ずバ ージョンアップします。弊社ホームページにて確認ください。

・この説明書の著作権はマァート・ハイシステム有限会社にあります。一部または全部を無断 で複製することはできません。

Microsoft, Windows XP, Vista, 7, 8, 8.1, Access, Outlook, Excel, Word, Office, インテリマウスは
 米国マイクロソフト社の登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名は各社の登録
 商標です。

・1999年8月21日に使用許可をいただいたUNLHA32.DLL はMicco氏のフリーソフトウェアですが、現在は使用しておりません。

・2010年8月6日よりデータの圧縮バックアップ、復元に使用しているフリーソフトウェアの CAB32.DLLについて以下を明記します。

Copyright(C)1998-2002 K.Miyauchi

This library is based in part on the Microsoft Cabinet Software Development Kit.

・QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

・本製品は音声メッセージをする場合がありますが、それにはアクエスト社の規則音声合成ラ イブラリ(無償版)を使用しており、その著作権は株式会社アクエストに帰属します。

・本ソフトウェアは他社ソフトウェアの技術的制限手段を違法に回避する機能等はありません。
 ・本ソフトウェアはインターネットを通じてデータ等を送信する機能等はありません。

http://www.maat.co.jp

総合案内 infosales@maat.co.jp(迷惑メール回避のためアドレスを変更する場合があります。ホームページの下部か特定商取引ページを参照してください。)

http://www.maat.co.jp/lawdisp.html

使用許諾契約書 重要

ソフトウェア製品ライセンス

製品名 マァート車輌運用管理プログラム

ライセンス数 1ライセンス(同一のお客様所有で同一の構内にある3台までの

コンピュータで使用する権利)

以下のライセンス契約書を注意してお読みください。本使用許諾契約書(以下「本契約書」といいます)は、 下記に示されたマァート・ハイシステム有限会社(以下マァートといいます)のソフトウェア製品(以下「本ソフ トウェア製品 | または「本ソフトウェア | といいます) に関してお客様(個人または法人のいずれであるかを問い ません)とマァートとの間に締結される法的な契約書です。本ソフトウェア製品は、コンピュータ ソフトウェア およびそれに関連した媒体、ならびに印刷物(マニュアルなどの文書)、「オンライン」または電子文書を含むこ ともあります。本ソフトウェア製品をインストール、複製、または使用することによって、お客様は本契約書の 条項に拘束されることに承諾されたものとします。本契約書の条項に同意されない場合、マァートは、お客様に 本ソフトウェア製品のインストール、使用または複製のいずれも許諾できません。そのような場合、未使用のソ フトウェア製品を直ちに購入店またはマァートへご返品ください。

ソフトウェア製品ライセンス

本ソフトウェア製品は、著作権法および国際著作権条約をはじめ、その他の無体財産権に関する法律ならびに その条約によって保護されています。本ソフトウェア製品は許諾されるもので、販売されるものではありません。

1. ライセンスの許諾 本契約書は、お客様に対し以下の権利を許諾します。

★ ライセンスキー(ライセンス番号という場合も同様のことを指します。)

マァートがライセンスキーを使用して本ソフトウェアを許諾する場合、お客様名(またはお客様が登録した実 在する法人、組織等の名称)と7桁郵便番号によって規定される記号の組み合わせにより一意に決定されるライセ ンスキー(お客様を特定する文字列)によるものとします。

★ ライセンスキーによる使用の制限

ライセンスキーの未登録またはマァートが交付した正規のライセンスキーでないものを登録して本ソフトウ ェア製品を使用すると一定日時後、一定起動回数後に一時的に本ソフトウェア製品の使用ができなくなります。 ★ ライセンスキーの更新

正規購入のお客様はお客様名等の変更によるライセンスキーの更新をマァートに請求することができます。 (証明資料が必要な場合もあります。)

★ アプリケーションソフトウェア

お客様は、本ソフトウェア製品をご購入された同一のお客様所有で同一の構内にある3台までのコンピュータ上に インストールして使用することができます。また、お客様は本ソフトウェア製品の同じオペレーティングシステム用 の旧バージョンのコピー1部を本ソフトウェア製品がインストールされている特定のコンピュータ上にインス トールしておくことができます。

★ 記憶装置/ネットワークの使用

お客様は、ネットワークサーバーのような記憶装置に、本ソフトウェア製品のコピー1部を蓄積またはインス トールすることもできます。かかる記憶装置は、本ソフトウェア製品を内部ネットワークで他のコンピュータに インストールまたは実行するためだけに使用されるものでなければなりません。ただし、本ソフトウェア製品が インストールされたコンピュータまたは記憶装置から本ソフトウェア製品を実行している各コンピュータごと に、専用のライセンスを取得しなければなりません。また、本ソフトウェア製品についての1つのライセンスを 異なるコンピュータ間で共有したり、同時に使用することはできません。

2. その他の権利と制限

★ リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルの制限

お客様は、本ソフトウェア製品をリバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブル、その他人 間が理解できる状態にすることはできません。

★ 構成部分の分離

本ソフトウェア製品は 1 つの製品として許諾されています。その構成部分を分離して 3 台をこえるコンピュ ータで使用することはできません。

★ プレインストール用またはバンドル用 ソフトウェア製品の使用

本ソフトウェア製品がプレインストール用またはバンドル用 ソフトウェア製品ライセンスで提供されている 場合には、お客様は本ソフトウェア製品とともに入手した特定のコンピュータ(以下「本コンピュータ」といい ます)上でのみ使用することができます。また、この場合、本ソフトウェア製品の譲渡あるいは売却は、本コン ピュータに伴ってのみ行うことができます。

★ レンタル

お客様は本ソフトウェア製品をレンタルまたはリースすることはできません。

★ サポートサービス

マアートは、本ソフトウェア製品に関するサポートサービス(以下「サポートサービス」といいます)をお客様に提供する場合があります。サポートサービスについては、ユーザーマニュアル、オンラインドキュメント、またはマアート提供の印刷物などに記載されているマアートのポリシーおよびプログラムに従ってご利用になれます。サポートサービスの一部としてお客様に提供された追加のソフトウェアコードは、本ソフトウェア製品の一部とみなされ、本契約書の条件および条項が適用されます。

★ ソフトウェアの譲渡

お客様は、本契約に基づいてお客様の全ての権利を恒久的に譲渡することができます。譲渡には、本ソフトウ ェア製品の一切(全ての構成部分、媒体、マニュアルなどの文書、アップグレード、本契約書)を譲渡すること が条件です。委託販売その他の間接的な譲渡をすることはできません。譲受人は、本契約書の条項に同意し、本 契約書および本ソフトウェア製品をさらに譲渡しないことに同意しなければなりません。

★ 解除

お客様が本契約書の条項および条件に違反した場合、マァートは、他の権利を害することなく本契約を終了す ることができます。そのような場合、お客様は本ソフトウェア製品の複製物およびその構成部分を全て破棄しな ければなりません。

3. アップグレード

本ソフトウェア製品がアップグレードである場合、お客様は、本ソフトウェア製品を使用するためには、マァ ートによってアップグレード対象製品と指定されているソフトウェア製品を使用するためのライセンスを正規 に取得していなければなりません。アップグレードである本ソフトウェア製品は、そのアップグレードの対象と なる製品の代替、あるいはこれに追加されるものです。お客様は、アップグレードにより得られたソフトウェア 製品を、本契約書の条項に従ってのみ使用することができます。複数のコンピュータ プログラムのコンポーネ ントから成り、これらが1つの製品とされている場合において、本ソフトウェア製品がそのコンポーネントのア ップグレードとして提供されている場合、お客様は本ソフトウェア製品を1つの製品としてのみ使用または譲渡 できるものとし、各構成部分を分離して複数のコンピュータ上で使用することはできません。

4. 著作権

本ソフトウェア製品(本ソフトウェア製品のプログラムコード、画面デザイン、帳票デザイン、Webページデ ザイン、データベース構造、実現する機能、操作方法、操作手順、組み込まれたイメージ、写真、アニメーショ ン、ビデオ、音声、音楽、テキスト、アプレットを含みますが、それだけに限りません)、付属のマニュアルなど の文書、および本ソフトウェア製品の複製物についての権原および著作権は、マァートが有するもので、本ソフ トウェア製品は著作権法および国際条約の規定によって保護されています。したがって、お客様は本ソフトウェ ア製品を他の著作物と同様に扱わなければなりません。ただし、お客様はオリジナルを、保存またはコンピュー タ上の本ソフトウェア製品を復元する以外の目的で使用しないことを厳守する限り、本ソフトウェア製品を、特 定のコンピュータ上へインストールすることができます。お客様は、本ソフトウェア製品付属のマニュアルなど 文書を複製することはできません。電子的マニュアルについては1部数印刷することができます。

5. 保証

マァートは本ソフトウェア製品の使用者が本ソフトウェア製品を使用することによって、直接もしくは、間接 に発生した種々の損害(データ、プログラムその他無形体財産に対する損害、使用利益、および得るべかりし利益 の喪失、事業の中断、事業情報の損失など)に対して一切の責任を負わないものとします。またマァートが責任を 負ういかなる場合においても、マァートの責任は本ソフトウェア製品の購入代金を超えないものとします。

6. 品質保証

本ソフトウェア製品が付属の製品マニュアルに従って実質的に動作しない場合、または本ソフトウェア製品の 媒体またはマニュアルに物理的な瑕疵がある場合にはお買い上げ後100日間にかぎり、交換、または代金返還の いずれかにより対応するものとします。ただし上記の事態が火災、地震、第3者による行為その他の事故、お客 様の故意もしくは過失、誤用その他異常な条件下での使用において生じるマァートの責に帰さない理由により生 じた場合、マァートは保証の責任を負わないものとします。またマァートまたはその供給者がお客様のコンピュ ータに本ソフトウェア製品のインストールを代行し本ソフトウェア製品を稼動して操作説明をした場合には瑕 疵担保期間はインストール後、50日間とさせていただきます。

7. 裁判所

お客様、および弊社は、本契約に関連して発生した紛争については日本国、名古屋地方裁判所または名古屋地方 裁判所岡崎支部および安城簡易裁判所を第一審の管轄裁判所とし名古屋高等裁判所を第二審の管轄裁判所とす ることに同意します。

ライセンスご購入年月日 (西暦で記入すること) 20 年 月 日	ライセンスご購入者 様
マァート車輌運用管理 プログラム	販売担当

マアトとは

古代エジプト人の信仰した神で正義、真理、法、秩序の象徴としての女神。頭上に駝鳥の羽根 (マアト)をつける。弊社名マァートはこのマアトをもじったものです。

弊社は正義、真理、法、秩序を重視します。



追加ライセンスについて

4 台~6 台で使用する場合、定価の 33%の金額で、さらに 3 台分のライセンスを購入できま す。以下同様に追加ライセンスを増やせます。

パソコン台数	必要ライセ ンス数	金額	合計金額
1~3	1	定価	定価×1
4~6	2	追加1ライセンスにつき定価の33%	定価×1.33
7~9	3	追加1ライセンスにつき定価の33%	定価×1.66
10~14	4	追加 1 ライセンスにつき定価の 34%	定価×2
15~19	5	追加1ライセンスにつき定価の33%	定価×2.33
20~24	6	追加1ライセンスにつき定価の33%	定価×2.66
25~29	7	追加 1 ライセンスにつき定価の 34%	定価×3
30~39	8	追加1ライセンスにつき定価の33%	定価×3.33
40~49	9	追加1ライセンスにつき定価の33%	定価×3.66
50~59	10	追加 1 ライセンスにつき定価の 34%	定価×4
	これ以上の台	数については問い合わせ要す	

8

サポートサービスについて

弊社サポートサービスとはソフトウェアの操作教育、操作教授とは異なります。サポートサー ビスはお客様が弊社ソフトウェア製品を使用した場合の疑問や説明書を読んでもよく理解で きないという特定の問題に対してのソフトウェアメーカーからの支援サービスです。したがっ て、インストールがわからない、説明書を読むより聞いた方が早いと、一から十まで説明を要 求することはサポートの範囲を超えます。そういうサービスを必要とする場合には、弊社の「有 償年間電話教育サービス&サポート(出張サポート除外)」や「有償出張教育サービス&サポー ト」などの契約や要請をしていただく必要があります。

なおここで「弊社ソフトウェア製品」と呼ぶ場合はプログラム本体、付属のコンポーネント、 説明書を含みます。

サポートのための動作基盤

弊社ソフトウェア製品はマイクロソフト社の Windows OS が稼動するパソコンで動作します。 したがってパソコンの動作環境は弊社ソフトウェア製品サポートの前提になります。マイクロ ソフトがサポートを終了した Windows のバージョンでは弊社ソフトウェア製品の動作保証も 終了させていただきます。また同じくマイクロソフトの Access データベースソフトウェア製 品、SQL Server データベースソフトウェア製品のマイクロソフトサポートも影響します。も ちろんマイクロソフトのサポートが終了した時点から、なにもかも動作しなくなるというもの ではありませんが、保証をできないという事です。当該弊社ソフトウェア製品を購入された時 点での販売中の Windows がサポート対象の動作基盤となります。将来の Windows のバージ ョンとマイクロソフトがサポートを終了した過去のバージョンは対象とはなりません。 2014年4月以降の時点では

Windows Server 2012、Windows Vista、Windows 7、Windows 8/8.1 の 5 種類の OS での 各エディションです。(エディションとはそれぞれの Windows に家庭用や事務用のバリエーションがあることをさします。)

無償サポート条件

弊社ソフトウェア製品購入者への無償サポートはユーザー登録していただいた購入者に対し て購入日より1年間以内に10回までの電話、FAX、メールでのサポートに限られます。(弊社 既存ユーザーの平均サポート回数は0.7回です。つまりほとんどのユーザーは問い合わせをし てこられないで使用しています。)

ただしこのソフトウェア製品を無償で提供した場合のサポート回数は 1 回とさせていただきます。(無 償提供とは弊社がモニター顧客とか災害支援などで通常は有償のソフトウェアを無償で提供するも ので、東日本大震災で東北3県の希望者に無償配布したような場合を指します。)

ソフトウェアサイトでの購入者は購入時に自動ユーザー登録されます。また直接販売購入者も 同様です。その他の場合は弊社へユーザー登録していただく必要があります。

サポート受付

電話での問い合わせサポートは月曜~金曜(祝祭日を除く)の 9 時~12 時、13 時~17 時です。

FAX やメールの場合は随時受け付けていますが回答は原則として電話サポートの時間帯になります。問い合わせ先はプログラム名をクリックすると表示される「入力説明」ウインドウの下部に表示されます。

無償サポート対象条件

弊社ソフトウェア製品のサポートでは以下の条件を対象としています。(弊社ソフトウェア製品についてのみです。)

- 1 特定の疑問のある機能について操作手順の教授説明。
- 2 ソフトウェアのバグについての問い合わせ。(バグと判明した場合はサポート回数のカウン トはしません。)
- 3 応用方法についてのヒント。
- 4 エラーやエラーメッセージに対しての対応方法。
- 5 その他、技術的質問。

サポート対象者除外条件

弊社ソフトウェア製品のサポートは以下の条件の場合を想定していません。

- 1 18 未満の人(弊社ソフトウェア製品は業務用またはそれに準じた機能の製品であるため。)
- 2 義務教育終了程度の日本語知識がない場合。(説明書が読めません。)
- 3 初歩的な演繹的および帰納的思考ができない人。(1+1=2とは習ったが3+2という組み 合わせでは1度も習ったことがないからわからないという程度ではプログラムの理解はでき ません。使用される業務や職種もさまざまで想定されるすべての事例を記述することはできま せん。)

4 自分の思い通りにならないと根も葉もない理由を作り上げ、威嚇、信用毀損、偽計業務妨 害、威力業務妨害等をする人

無償サポートの打ち切り

以下の事例でしめされるような場合には、無償サポートの打ち切りを通告する場合があります。 また有償サポート契約期間中であっても2項以下に該当する場合には準じた措置をとり、有償 サポート契約の更新はできません。

1 無償サポートとして提供する内容以上の「有償年間電話教育サービス&サポート(出張サポ ート除外)」や「有償出張教育サービス&サポート」に該当するサービス&サポートを2項目ま たは2度以上要求された場合。

2 弊社ソフトウェア製品へのサポートではなく、弊社のポリシーや体制への批判。プログラ ムへの建設的改善提案などではなく、弊社ソフトウェア製品への批難、根拠のない批判、こき おろし、いいがかりを2項目以上または2度以上述べた場合。

- 3 弊社や弊社ソフトウェア製品への悪意ある風評を流布すると述べたり、実施した場合。
- 4 リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルして弊社ソフトウェア製品のイ ミテーションソフトウェア製品を作成する目的での細かな質問や問い合わせ。
- 5 サポート対象除外条件に該当する購入者かサポート対象者除外条件に該当する他の担当者

がサポート要請を2度以上してくる場合。

6 ウィルス汚染やハードディスククラッシュ等、弊社の責に属さないことで部分的データ喪 失または全データを喪失したり毀損したとき、およびデータの外部流失が発生したとき弊社に 責任を押しつけようとしたり、なんらかの責任があるかのように主張した場合。(パソコン外 部にデータバックアップしたり、データ保護、流失防止管理することはユーザーの自己責任で す。)

7 弊社ソフトウェアやサービス役務等の対価の支払などで金銭的トラブルを起こした場合や 弊社販売倫理規程に違反する場合。

これらの中で悪質な場合は刑法第 222 条(脅迫)、第 230 条(名誉毀損)、第 231 条(侮辱)、第 172 条(虚偽告訴)、第 233 条(信用毀損・業務妨害)、第 234 条(威力業務妨害)、第 249 条(恐喝)、 第 250 条(恐喝等未遂罪)、等に該当するとして躊躇なく刑事訴訟法第 239 条などに基づいて告 発する場合もありえます。

なお打ち切りとしたユーザーに対しては、他のすべてのサービス&サポート契約締結や製品販売、役務契約を永久に拒否します。

第1部

インストール

1.1 必要な動作環境について

本プログラムには以下のパソコン環境が必要です。

ハードウェア

CPU	Pentium または互換、後継プロセッサー500MHz 以上
	1.5GHz 以上を推奨
	このソフトは NEC の旧型 PC98(ハードディスクが A ドライブの 1997
	年8月以前製造のもの)には対応していません。現行の NX シリーズ
	以降の DOS/V 型は OK です。
メモリー	258M バイト以上 512M バイト以上を推奨
	Windows のバージョンで最低必要メモリー量が異なります。
	それぞれの条件はクリアしてなおそれ以上余分にあることがのぞま
	しい。
ハードディスク	80M バイト以上の空き領域(当初は 10MB 程度だが家計データ数と住
	所録のデータで増加します。)写真、画像を登録する場合さらに多量
	に必要
モニター	解像度 1150×870 以上、17 インチ以上を推奨
	各画面は 1150×870 サイズで設計
	解像度 800×600 や 640×480 はサポートしません。
プリンター	Windows 7/8 サポート機種
マウス	Windows 7/8 サポート機種、
	インテリマウス対応
バックアップ装置	データ喪失からの安全性のためには必須。外部 USB ハードディスク、
	USB メモリー DVD-R/RW ドライブ等大容量記憶装置。

ソフトウェア

Windows Vista/7/8/8.1 オペレーティングシステム日本語版 (Windows XP 以前の Windows ではいかなる保証もいたしません。) マイクロソフト Access2002 以降 2013 または Access 2002~2013 ランタイムが必要。本プロ グラムのインストーラーには Access ランタイムが含まれており、インストールするかしない かインストール途中で選択できます。

(Access 97、2000 では動作しません。)

Access2010、Access2013のランタイム版では32ビット版の方をインストールしてください。 AccessRuntime2010.exe または

AccessRuntime2013_ja-jp_x86.exe をマイクロソフトのダウンロードセンターからダウン ロードしてインストールします。

1.2 インストールの仕方(セットアップとも言います。)

別紙または本説明書4ページの使用許諾書に同意いただいてからインストールしてください。

マァート車輌運用管理プログラムのインストールは、通常 CD-ROM をセットすると自動起動して「次へ」「継続」... と押していくとセットアップします。くわしい説明は「はじめにお読みください」説明書の「新タイプのインストーラー」の方をお読みください。

ダウンロードファイルでは圧縮ファイルをダブルクリックすると関連ファイルのはいったフ ォルダーごと展開解凍します。その中の setup.exe をダブルクリックします。

🛃 setup.exe 🛛

注意 他に起動しているソフトウェアはすべて停止させます。場合によっては常駐型ウィル ス検知ソフトの使用するプログラムモジュールによってインストールが中断されることもあ るのでその場合にはそれらも一時的に停止してください。マイクロソフトオフィスツールバー や一太郎のツールバー、エクスプローラーの表示も阻害要因になる場合もあります。インスト ール途中でメッセージがでた場合、それらを停止してください。

14

起動

パソコンを起動した後、スタートボタンをクリック、「すべてのプログラム」という項目に マウスポインタを移動してから、サブメニューの「マァート車輌運用管理システム」にポイン タを合わせ、さらに「車輌運用管理プログラム」でマウスをクリック起動させます。

lal	.	プログラム(<u>P</u>)) آ	 ☐ UNLHA32 ☐ マァート車輛総合管理システム 	•	車輛総合管理プログラム
. <mark>9</mark>	1	最近使ったファイル(<u>D</u>)	•			
Je	5	設定(<u>S</u>)	•			
8		検索(<u>C</u>)	•			
S 20	2	ヘルプ(<u>H</u>)				
Į	2	ファイル名を指定して実行(<u>R</u>)				
ž		シャットダウン(<u>U</u>)				
	አቃ- <mark>ነ</mark>	🏹 🛛 🈂 🗊 🗹 🖸 🗍 🔂 🖓	倉庫	፤ │ <mark>◯3</mark> 2k製品開発 │ <mark>፩</mark> 3 宝石販売…	<u></u> М	icrosoft I 🗹 1 - M
	7	< タートボタン				

下図のような画面が現れます。この画面をメインメニューと呼びます。



ツールバーなどの表示が完全に完了してから、メインメニュー上の各ボタンで次のような処理 の実行を指示できます。選択方法は各絵のあるボタンを押しプルダウンするメニューをマウス クリックします。

マスター管理	主として導入のための基本設定です
基本情報	事業所情報の登録画面です
システムデータ	運転者、メーカー、用途等のデータの登録管理
データバックアップ	データベースの保存と復元の管理
データ削除	古いデータの一括削除

車輌管理

車輌データ登録	車検証記載データなどの入力と履歴の入力
車輌検索	車輌データの各項目からのデータ検索とその結果の印刷
車輌履歴入力	修理、車検、事故処理等の履歴専用入力

運転走行

運転走行入力	走行関連の各種データ入力
検索・帳票	走行データの各項目からのデータ検索とその結果の印刷
月間集計	走行記録の月間集計と印刷
年間集計	走行記録の年間集計と印刷

予定·実績管理

便数週間予定	週間予定表の作成と印刷
予定パターン作成	週間予定や日誌の基本パターン作成と投入機能
月間勤務予定	運転者の月間予定表作成
運転便数日誌入力	日別、運転者別の運転便数と行き先登録、印刷

記録帳

一般記録帳

データ入力	記録帳のデータ入力です。
データー覧表記録デー	- タのリスト表示です。重複チェックもできます。
検索・印刷条件	記録データの条件検索とその結果の印刷ができます。
分類コード	分類コードの作成、変更ができます。
出典コード	出典コードの作成、変更ができます。

終了

メインメニューから選んだ作業が終了したら、メインメニューに戻ります。すべてのデータは それぞれの画面で入力したら即時記録されます。しかし終了する前に全体のデータバックアッ プ保存した方が事故災害等から安全です。「終了」ボタンをクリックすると、「データバックア ップしますか」という確認メッセージを出します。「いいえ」を選択すればそのまま終了しま す。「はい」を押すと「TRS 年月日数字-時刻数字.MHCA」形式のファイル名が入力された 圧縮データバックアップ画面を表示します。保存をしてから再度「終了」ボタンを押したとき にはバックアップ確認メッセージは表示せずプログラムは終了します。終了すると Windows の画面に戻ります。バックアップは通常 10 秒から 20 秒程度で終了するのでめんどうがらず 実施した方が無難です。次回に必ずパソコンが故障なく起動するとはかぎらないからです。

メインメニューから選んだ作業が終了したら、メインメニューに戻ります。すべてのデータは それぞれの画面で入力したら即記録されます。しかし終了する前にデータバックアップ保存し た方が事故災害等から安全です。

1.4 用語説明、注意事項

この説明書では以下のように用語を定義します。

既定、既定値 初期値ともいいます。新規登録するときなど標準的な値やデータを自動入力す るための機能 本書での表現

本書で説明する画面を表示するための操作順序はかぎ括弧「」で表示します。通常はメインメ ニュー画面からのメニューの選択順序になります。「マスター管理」「システムデータ」「運転 者コード」と表現してあったら「マスター管理」ボタンを押しプルダウンするメニューから「シ ステムデータ」の項目をマウスクリックし選択し「運転者コード」ボタンを押すことを意味し ます。

入力用ソフトウェア部品の説明

ツールバーやコンボボックス、プリンターの設定、入力窓の色による区別等については「はじめにお読みください」説明書の方に記述してあります。一部についてはここで記述します。 日付入力形式は yyyy/mm/dd(例 2001 年 1 月 24 日なら 2001/1/24)と入力します。曜日を表示 するタイプでは日付をいれると自動で表示されます。

重要 「はじめにお読みください」説明書の「日付形式の変更」の項目を必ず読んで実施してください。Windows Me 以降の OS では標準で年4桁日付形式になっています。Win 98等、その前は2桁日付が標準になっています。(いわゆる 2000 年問題です。)

本プログラムはインターネット時代であるため一切の半角カタカナは使用していません。 しかし氏名等のふりがなに半角カタカナを使用しても当面、支障は生じないと思われます。し かし近い将来スタンドアローンのパソコンでもXMLを使用してデータ処理する時代がきます。 そのときには問題がでると思います。

本プログラムでは画面上部に専用ツールバーがあります。このツールバーをつまんで下におろ すとツールバーのウインドウになりウインドウのクローズボックスも表示されます。誤ってこ のクローズボックスをおした場合、メインメニュー画面で事業所名タイトルかプログラム名タ イトルをクリックすると再表示します。 第2部

導入

18

2.1 導入時の各種設定順序について

車輌運用管理プログラムを実際にお使いになる際、以下のように最初に入力設定をしていた だきたい項目がいくつかあります。 下記の順序でデータ設定をお願いします。

基本情報(名称、住所、郵便番号とその後に**ライセンスキー**は必ず入力してください)

各種システムデータ(初期値設定ずみのものもあります。)

↓ 車輌データ登録 ↓ 運用(必要に応じて予定パターンを作成していきます。)

2.2 システムデータ

コード番号について

運転者コードをはじめ走行種類コードなどこのシステムはコードでデータの一意性を確保 しています。コードは通常数字で作成しますが数字文字の羅列であり、自然数ではありません。 たとえば 001 と 1 は別なコードとなります。並ぶ順序は 1 番左端の数字の大小で並び、次に 左から 2 番目の数字の大小で並びます。その次は 3 番目と続きます。したがって 1024 と 25 のコードがあったとすると数字とすれば 1024 の方が大きな数字で並び順としては後になるは ずですがこのシステムでは 25 の方が後に並びます。(左端の最初の数字が 1 であるので 1024 が前にくる。)

コードの桁数はその種類によっていろいろですが最大5桁です。それ以下ならなら何桁でも可能です。その場合、たとえば10番も010というように頭に0をつけて、ある種類のコードはすべてのコードの桁をそろえてください。

重要 コードのあるデータタイプは基本的にはそのコードをデータとして格納します。した がってたとえばある運転者コードを運用途中で125から0125に変更したとしたら125を使用 していた時期の配達実績と0125を使用している配達実績で一貫した処理(計算や集計など)は できません。それらの名称が同一でもコードが違う場合には別のデータとして処理します。逆 に名称を変更してもコードが同じなら一貫して処理します。またコードを変えて古い方のコー ド(この場合125)を削除するとそのコードで作成した運転者データそのものを表示できなくな る場合もあります。(データそのものは残っています。125のコードをもう1度作成すれば表 示できます。)したがって使用を中止したコードであっても、不用意にそのコードを削除しな いでください。運転者についてもその人が仮に退職したとしても勤務区分を退職者にして残し ておいてください。削除すると重大な結果をまねく場合もあります。

コードの命名原則は導入時に慎重に計画して運用してください。

またすべての種類で0、00、000、0000や99、999、9999という番号だけのコードもあり

ます。これも削除しないでください。未選択の場合の初期値として使用しています。

荷主コード 荷主名称とそのコード番号の登録、削除。運転走行入力で使用します。
荷姿コード 荷姿名称とそのコード番号の登録、削除。運転走行入力で使用します。
走行種類コード 走行種類とそのコード番号の登録、削除。運転走行入力で使用します。
運行種類コード 運行種類とそのコード番号の登録、削除。運転走行入力で使用します。
配送先マスター 配送先名称とそのコード番号の登録、削除。運転走行入力、週間予定、予定
パターン、運転便数日誌で使用します。

運転者マスター 運転者名とそのコード番号の登録、削除。運転走行入力、週間予定、予定パ ターン、運転便数日誌で使用します。

勤務⊐−ド 月間勤務のコード、勤務略称、勤務名称の登録、削除。月間勤務予定で使用 します。勤務略称が表示、印刷に使用されます。勤務略称は6文字以内で作成してください。 形状、用途、メーカー、自事区分、車輌種別、保守点検分類、燃料コードは車輌登録データで 使用します。初期値登録済みです。さらに燃料コードは運転走行入力でも使用します。

次項より、登録操作方法について、解説しますが荷主、配送先、運転者、車輌、運行種類、 荷姿、走行種類、燃料種類については操作方法はまったく同一であるため代表して次項で運転 者コードの登録画面の説明します。 メインメニューから、「マスター管理」「システムデータ」「運転者コード」を選択すると下 図を表示します

志元順序	「「「「「「「」」」	「御鮮安夕」		
30/1/IR/2	JEFA-B J T		Skiller MJ	
	000	運転者不明		
17	001	勝後一郎		
18	002	山加藤勝一郎		
15	003	アメリカン太郎	2	
14	004	田中坂一浪		
13	005	桧松杉雄		
12	006	富山仙台男		
44	007	神奈川神戸	R	
43	010	東京日本橋朗		
42	011	ジャスト到着サービス		
41	012	里中敏太郎商店		
33	100	架(7橋二郎三郎		
32	101	フリーター四郎	2	
31	102	宮川アルバイト	R	
44	102	医复林大郎		

この画面では運転者名称とそのコード番号の登録、削除、および月間勤務予定表での表示するしない、表示順序を設定します。

運転者コード 001番から任意の番号を使用できます。000番は「運転者不明」として変更しないでください。この番号は必ず3桁の数字で作成してください。正社員、パートアルバイト、外注などで番号の百番台をかえるなどした方がこの画面や入力リストの表示順序が整理されます。

表示順序 月間勤務予定表での表示順序を指定します。連番ではなく飛び番の数字でもかまいません。後で割り込ませることもあるので10ずつふやすなどすると変更が楽です。表示許可 月間勤務予定表で表示するかしないかを指定します。

運転者名 氏名や外注事業所名を入れます。

画面下部の機能ボタン説明。【】の中は対応するファンクションキー名です。

追加 削除	印刷 🔶 🗭 閉じる
追加【F2】	新しい名称とそのコード番号の登録を開始します。
削除【F3】	カーソルのあるデータ行の名称とそのコード番号をマスターから削
除します。	
印刷【F4】	名称とコード番号データの印刷プレビューを表示します。
左右の矢印【F6,7】	データのデータ行を前後させます
	左矢印で前行、右矢印で次行に移動
閉じる【F8】	コード作成画面を閉じ、メインメニューにもどります。

2.3 基本情報

メインメニューから、「マスター管理」「基本情報」を選択で下図を表示します

	基本/慎報
	名称 Drk Zb/回動車 の 法人 ふりがな ガントカ の 法人 ご 個人 第第日 2008/04/011 第末日 2008/03/381
	電話音号 FAX語号 創業音号 推所1 際型市院山町4-3-30 推所2 ホームページ 電子メーリ・ 電子メーリ・ 電話
	5UM
この画面は3つのタ	ブページにわかれていて以下のような項目について入力します。タブペー
	事業所 郵便・他 システム
	名刺肩書き 社長 名刺氏名 (夕ミー太郎) 名制印刷
ジは「事業所」「郵便	●・他」「システム」のタブを押すと切り替わります。
	事業所 郵便・他 システム ジステム動作等設定 「年月日表示西暦使用 ロ ブログラム終了時最適化する

名称、住所等 名称等を入力します。

重要 ライセンスキーの登録について

本プログラムはライセンスキーを正しく入力することにより、正常使用できます。

バスワードを無しにすると 起動時確認はしません。

バスワード [

ライセンスキーは 13 文字から 21 文字程度の弊社から発行された数字とアルファベットから なる文字列です。ライセンスキーはアルファベットの IOXZ は使用していません(数字の 1、 0、2 や乗算記号の×と混同することを防ぐためです。アルファベットは大文字のみ使用しま す。)。それ以外のアルファベットと 0 から 9 までの数字とマイナス記号(-)で構成されてい ます。このキーはユーザーが使用する名称(購入者名とはかぎりません。本プログラムを使用 する事業所や組織の名称です。)と郵便番号から生成されるもので一致しないと、最初にイン ストールしてから一定の限度で本プログラムは使用できなくなります。ユーザーの名称や住所 変更にともなう郵便番号の変更が発生した場合には新しいキーを弊社に請求してください。 (本プログラムの正規ユーザーの変更にかぎります。極端に変わる場合、証明資料が必要な場合もあります。)

名称や電話番号、住所、郵便番号を入力してからライセンスキーを入力します。この場合、郵 便番号は必ず半角文字で入力し3桁目と4桁目の間にはマイナス記号をいれます。(自動では いります。)ライセンスキーにはほぼ真中に必ずマイナス記号がありますがそれも必ず入力し ます。キーを1度いれて Enter キーを押すとすると正しいか間違いかの判定がでます。画面 を閉じて再表示したときにはキーは消えます。キーが正しくないまたは未入力の場合、最初の 起動から1ヶ月後にプログラム起動回数が30回を超えた時点または2ヶ月後に無条件で使用 できなくなります。この場合、入力したデータは削除されません。保持されていますが使用で きなくなります。またプログラムを再インストールすると出荷時の空のデータに置き換わって しまいますので注意してください。

ー旦使用できなくなったプログラムは正規のライセンスキーを入力後(登録完了とメッセージ がでます。正しくないとまちがいですと出ます。)入力欄右にある「確認」 ボタンを押します。



正しい場合は下図のようなメッセージが出ます。「はい」を押すとるテーブルリンク画面が表示されるので「リンク」指令ボタンを押してデータベースとリンクしてください。正しいはずなのに「ライセンスキー不良です」と出る場合は画面を閉じてメインメニューから再度、基本 情報画面を開いて押してみてください。



または「マスター管理」「データバックアップ」「リンク」と選択し表示されるテーブルリンク 画面で既定リンク先に指定ボタンを押してからリンク指令ボタンを押して再び使用できるよ うになります。「確認」ボタンでライセンスキーが違う場合には下図メッセージが出ます。



期首日 yyyy/mm/dd 形式で入力します。期末日は自動で入力されます。

名刺肩書、氏名 市販のA4名刺用紙に印刷できます。プリンターによっては余白の調整が必要 なときもあります。エーワン(株)の品番 51002 用紙に対応しています。他社もほぼ同サイズで す。 **パスワード** このプログラムを不用意に第3者に起動、操作されるのを防止するために設 定できます。パスワードを設定し、次回プログラムを起動すると次図が表示されます。正しい パスワードをいれない場合、プログラムは終了します。



パスワードを設定すると入力した文字数分の*が表示されます。変更するにはこの**をすべて消してから再登録してください。使用しない場合には。*を全部消してください。

重要 パスワードは忘れないように対策してください。忘れたパスワードは弊社でも回復できません。その場合プログラムは2度と起動できません。このパスワードはプログラムに格納されるのではなくデータファイルに格納されます。したがって別のプログラムやネットワークからの他のパソコンからも起動することはできません。再インストールしても今までのデータファイルを使用するかぎり同じです。

年月日表示西暦使用 年月日を西暦で表示するか、弊社不本意方式(日本独特方式)で入力す るかの切替です。チェックありで西暦表示方式になります。これは車輌データの年月日にしか 適用されません(車検証入力のため)。他の年月日はすべて西暦です。

西暦入力の場合 yyyy/mm/dd 形式で入力するのが基本です。年月しか入力要求がない場合で もこの方式なら完全です。たとえば年月入力で 1/1 といれた場合、2001 年1月なのか1月 1日なのかわかりません。2001/1 といれれば年月であると判定されます。この場合 1/1/1 といれれば 2001 年1月1日と判定されます。不本意方式(日本独特方式)でも入力はできます。 年号のアルファベットと年月日をいれれば可能です。(例 s55/8/7 といれれば 1980/8/7 となります。アルファベットは大文字でも小文字でも関係ありません。)

プログラム終了時最適化する ここにチェックがあるとプログラム終了時に自動でプログラムのごみを取る最適化を実行します。そのためプログラムの終了が少し遅くなります。

画面下部の機能ボタン説明。【】の中は対応するファンクションキー名です。

閉じる【F8】 メインメニューにもどります。

2.4 データ削除



3年以上古い指定した年月以前の、運転走行データや運転日誌データ、週間予定表、月間予定 表をそれぞれ一括削除できます。ボタンを押すと1度確認メッセージがでてから削除できます。 また日付には無関係ですが車輌データも一括で削除できます。

削除したデータの復元はできません。

年月の初期値は3年前の年末日です。

削除する前に念のため現在時点のデータバックアップ保存をしておいてください。

2.5 データバックアップ

メインメニューの「マスター管理」「データバックアップ」を選択するとデータバックアッ プの画面を表示します。 データバックアップ保存の説明は「はじめにお読みください」説明 書の方に記述してありますのでそちらを参照してください。

重要 不慮の事態にそなえてデータのバックアップは最低毎月、月初か月末の時点等でデータを 日付保存(保存した日付がファイル名になりどれが最新かすぐにわかります。)で外部のメディア (MO ディスクや CD-R/RW がのぞましい。)にバックアップすることを推奨します。フロッピーディス クは 20 世紀の遺物で信頼性が極端に低いので推奨できませんが2枚とれば気休め程度にはな ります。

ハードディスク等が故障して修理完了した場合、プログラムは CD-ROM 等から再インストールして復 元できますがデータはバックアップがなければ回復はできません。(パソコンの部品で一番故障する 可能性が高いのは超高速で常時回転しているハードディスクです。)

また、ときどきバックアップデータを復元して復元が可能か確認してください。

注意 TRSsamp.MHC を選択復元するとサンプルデータをみれます。また TRS 初期化 空.MHC を復元すると出荷時データになります。これらを復元する前に自分で作成したデータ は別の名称であらかじめ保存してください。

第3部

車輌管理

メインメニューから「車輌管理」「車輌登録」を選択すると下図を表示します。 「基本データ」と「履歴データ」の2つのタブページがあります。 基本データタブ



ここには車輌の基本データを登録します。大きく3つの入力エリアに分かれています。上部は は登録番号と事業所データエリア、基本データタブの太い黒枠内はフリーメモ欄をのぞいて車 検証のデータを記入するエリアで入力窓の配置も車検証に準じています。必要な項目のみ入力 することも可能です。履歴データタブは履歴エリアで点検、車検、事故、修理などその車輌の 履歴を入力します。この履歴は「3.4 車輌履歴登録」で入力することもできます。データは表 示形式が少し異なるだけで同じものです。

車輌登録 表示してある車輌を現在使用しているか、否かの指定です。廃車、転売等で データはあるが使用していない車輌は No にします。使用車は Yes にします。

連番本プログラムで車輌を識別するための連続番号です。自動発番で番号の変更 はできません。ある車輌を削除するとその番号は欠番になります。

管理コード 運用上の識別コード番号です。桁数を3桁以上でそろえて連番なり年号と組 み合わせるなりして登録します。**重複したコード番号を登録してはいけません。**

車輌通称名 営業1号車とか保冷2号とかナンバーの4桁数字など通常、事業所内で使用 している名称を入力します。任意項目 **車種名** 自動車メーカーが命名している車種名です。カタカナ入力モードになってい ますが変換キーで漢字にできます。任意項目

管理使用部署 その車輌を直接使用して管理する部署名。任意項目

自賠責、重量税、任意保険 任意項目

車検証データ

登録年月日、有効年月日、前回車検日、発行年月日は「マスター管理」「基本情報」「システム」 タブの「年月日表示西暦使用」にチェックをいれると西暦表示、チェックをはずすと日本独特 方式になります。入力は yyyy/mm/dd 形式か年号ローマ字(h、s、t、m)と yy/mm/dd で行い ます。

発行年月日 車検を受け新しい車検証を交付される度に書き直します。必須項目

登録番号 ナンバープレートのデータです。必須項目、画面上部にも表示され、どちら で登録変更しても反映されます。

登録/交付年月日 車検を受け新しい車検証を交付される度に書き直します。必須項目 有効期限満了日車検を受け新しい車検証を交付される度に書き直します。必須項目

初度登録年月 必須項目。

車名 車検証における車名というのは自動車メーカーのことです。

その他の項目は任意登録項目。日付入力の項目は入力は yyyy/mm/dd 形式か年号ローマ字(h、s、t、m)と yy/mm/dd で行います。

履歴入力

年月 点検、車検、事故、修理などの実施年月日。yyyy/mm/dd 形式で入力します。 西暦専用表示。

記録 実施内容や交換部品の入力

分類 コンボボックスから選択します。選択する項目の登録変更は「マスター管理」 「システムデータ」「保守点検分類」で行います。

金額かかった費用を入力します。

走行距離 その履歴が発生したときの距離メーターの値を入力します。

支払先 その費用を払った相手支払い先を選択します。支払い先は「マスター管理」「シ ステムデータ」の「支払先コード」で追加、変更できます。

納品書、請求書費用に対するそれぞれの書類があるか、ないかをYes、No選択します。

履歴が多い場合は右端にあるスクロールバーで上下に移動できます。

整列ボタン このボタンを押すと日付の若いデータ順に並べ替えます。

追加ボタン このボタンを押すと空白の新規行に移動し、日付欄にカーソルが点滅します。 削除 履歴エリアの削除したいデータ行の左端にある灰色のレコードセレクターを 押してからキーボードの Delete キーを押します。確認メッセージはでません。削除したデー タは復元できませんので慎重に行なってください。

検索移動

検索移動

画面上部に検索キーワード入力の水色窓と検索指令ボタンがあります。マウスを近づけると入

マァート・ハイシステム有限会社 28

カ窓にはヒントテキストが表示されますがそこに示されるような登録番号や車種名などの文 字の一部を入力し Enter キーを押すか検索指令ボタンを押すと下図のような該当車輌を表示 したウインドウがでます。該当車輌の行、左端にある選択ボタンを押すとその車輌のデータ画 面に移動できます。

國車輛	選択ウイ	ンドウ	×
選択	001		三河33ま6910 🛛 🔺
選択	002		三河11す4512
選択	003		三河34と3412
選択	004	サービス1号車	東三河88や913 —
選択	005		三河52の7216
選択	006	1962	東三河88か1962
選択	007	1459	東三河88か1459
		キャンセル	·
レコード	: । ()	1 ▶ № №* / 1	15 (フィルタ)

写真ボタンを押すと写真登録サブウインドウを表示します。1 台の車輌について4枚の写真や 画像を登録することができます。一応、名称は前面、後面、左側面、右側面となっていますが 他の写真画像でも登録できます。

写真や画像を他のプログラムで表示作成しておき Ctrl と C のキーを押してコピーするかその プログラムで標準的にはメニューから「編集」「コピー」を選択し画像データをコピーしこの プログラムの写真登録サブウインドウを表示させてから前面、後面、左側面、右側面のどれら の表示エリアをクリックしてから Ctrl と V のキーを押して貼り付けます。または表示エリア をクリックしてからマウスの右ボタンをクリックして表示されるメニューから「貼り付け」を 選択します。

なお写真登録サブウインドウの閉じるボタンを押してウインドウを閉じないと他のデータへの移動や登録などはできません。



画面下部の機能ボタン説明。【】の中は対応するファンクションキー名です。

追加【F2】 新規登録画面に移動します。

削除【F3】 表示している車輌データを削除します。削除する前に確認メッセージがでま

す。

- 帳票【F5】 印刷帳票の選択画面を表示します。
- **左右の矢印【F6,7】**前後の画面に移動します。
- 閉じる【F8】 メインメニューにもどります。
- 写真【F9】 写真登録サブウインドウを表示します。

3.2 検索・帳票

メインメニューから「車輌管理」「検索・帳票」を選択すると下図を表示します。

車輌検索条件							
管理コード 事業所内車構通称名	<u>車種名</u>	管理使用	17E		美 重量税	任意保険	-
自動車検査証 <u> <u> </u> 登録番号</u>		加度登録年月	院行年月 種別 月	日 1进	, 自家/事業用,重	E体の形状	
本 名	型式	定員	最大積載	<u>ه</u> ا	 車両重量	車両総	±@
車台委号	原動機型式 長さ	45	高さ	排気量	燃料の種類	型式指定	類別
所有者 有效期間消了日		1				前前軸重 前後軸重 後前軸重 後後軸重	
前回重校日 重校期間	7IJ-x t						
	実行	1	開しる	5		1	1

車輌データ登録したすべての項目を組み合わせて特定の条件の車輌を検索抽出できます。 黄色のコンボボックスではプルダウンリストからの選択だけですが、白色の項目は文字の一部 でも検索できます。たとえば発行年月日欄に 2001 といれれば 2001 年発行のものすべて、 2001/08 といれれば 2001 年 8 月発行のものすべてというようにできます。(月は必ず 2 桁でい れます。07 とか 08)

「実行」ボタンを押すと次項の検索結果画面を表示します。なにも条件を設定せずに「実行」 するとすべてのデータを表示します。

画面下部の機能ボタン説明。【】の中は対応するファンクションキー名です。

実行【F5】 検索を実行し結果画面を表示します。

閉じる【F8】 メインメニューにもどります。

検索結果画面

EAE C		平均名	管理部号	中種	10-100 10-100	第行年月日	有効年月日
Fatt	000		7730	738A	_		
	001	1	西三河33ま6910	RAV4J		2001/04/07	2004/02/15
a k	002	解冷(号	西三河1174512	1			2001/08/0
AL N	008		四三河04と8412	ウインダム	a survey		2001/08/25
細	0.04	サービス1号車	東三河88や913	キャンキャンター	宮寨部	1597/11/05	2001/09/20
#E I	005		西三河52の7215	20-5		1997/11/05	2001/00/10
細	006	1962	東三河88か1962				2004/08/10
翻	C 07	1459	東三河03か1459		1		2001/10/20
E I	010	1852	東三河88か1852				C - C - C -
翻	011	1862	東三河88か1882		1		
Æ	012	1365	東三河88か1355				
FAD K	013	1968	東三河88か1968				
PHH C	C14	0023	東三河11<3023		1		
HE I	015	3458	東三河11(3456				
Fatt I	016	7852	東三河40以7852	2			6
細	999	庫和不明	重調不明	0	1 I		

画面上部に検索条件に該当した車輌のリストがでます。

下部の「リスト」「履歴・全データ」「履歴・詳細データ」「写真付きデータ」ボタンを押すと それぞれの形式での印刷プレビューを表示します。

画面下部の機能ボタン説明。【】の中は対応するファンクションキー名です。 編集【F4】 マウスカーソルでクリックした車輌の画面を表示します。 **閉じる【F8】** 検索条件画面にもどります。

メインメニューの年月欄をダブルクリックするとダブルクリックした日付の月に有効期限 を迎える車輌を検索した検索結果画面を表示します。(例 ダブルクリックした日付が 2009/3 だとすると 2009 年 3 月に有効期限がくる車輌すべてを検出します。)

2-1	車轄名	全绿黄马	車種	部署	発行年月日	有効年月日
88 003	1982	東三河66か1962				2004/08/1
1171						
IJZŀ	齋慶 全子	> 実調 付きデータ				
11.2.F	清楚·全子	-9 51 11787-9	I]		
IJZŀ		> 実現付きデータ]		

年月欄は通常、当月が表示されています。+、-ボタンで年月をアップダウンできます。表示 した月で年月欄をダブルクリックするとその月に有効期限をむかえる車輌の一覧表を表示し ます。

下部の「リスト」「履歴・全データ」「写真付きデータ」ボタンを押すとそれぞれの形式での印 刷プレビューを表示します。

画面下部の機能ボタン説明。【】の中は対応するファンクションキー名です。

編集【F4】 マウスカーソルでクリックした車輌の画面を表示します。

閉じる【F8】 メインメニューにもどります。

	登録番号	年月	点検、修理等の記録内容	分類	金額		
狭帝	西二河309±6910	2008/07/01			70,000	料油書 No 三	
	平新表示 <u>走行 詳細</u>	56,220		Sturn NYOCN	1	net State Flo	
桃栗	西三河3423412 -	2008/06/25	94节交换	一般保修實	25,000	新品書 No ・	
	車輛表示 走行距離	62,500		支援先 即んとか	2	調家書 No M	
後衆	西三河303素6910 💽	2008/06/23	原油高	燃料費・	12,000	約品量 Yes ▼	
	率朝表示 走行距離	55,820		支払先 岩川石油	-	調末音 No 国	
後來	西三河3423412 -	2008/05/07	シャプト破損約後担	後理盟	58,000	約品書 No 国	
	車輛表示 走行距離	50,700		支払先かんとか	8	·····································	
狭病	東三河88加1459 -	2008/04/22		自賠責保険料	36,500	約品書 No 回	
	車輛表示 走行距離	76,000		支払先的人とか	_	調求書 No 回	
在完	西三河303ま6910 -	2008/08/02		白賠責保険料	56,000	結晶書 Yes ≚	
	車輛表示 走行距離	54,020		支払先にんとか	-	請求書 Yes ▼	
後衆	東三河88約1962 💽	2008/02/25	ファンペルト交換	一般保修習	15,000	約品量 No →	
	■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	23,000		支払先になんとか		請求書 Yas 🛃	
後來 📘	西三河3423412 -	2008/02/07		総料西 -	5,000	約品書 Yes J	
	平新表示 走行路線	20,700		支払先 岩川石油	-	請求書 Yes 🗉	

メインメニューから「車輌管理」「車輌履歴登録」を選択すると下図を表示します。

ここでは車輌登録画面と同じ履歴入力ができます。ただしどの車輌の履歴か区別するための車 輌登録番号を選択する必要があります。車輌登録番号が登録していない履歴データは迷子の履 歴データとなってしまいます。

新しい日付順、車輌別、分類別ボタン それぞれのボタンを押すと表示順序を変更できます。
 登録番号 車輌の登録番号を直接入力するかコンボボックスのプルダウンリストから選択します。直接入力したときは登録された番号以外を入力することはできません。または左にある検索キーワード入力窓に「車輌登録」画面上部にあった検索移動と同様にそこに示されるような登録番号や車種名などの文字の一部を入力し Enter キーを押すか検索ボタンを押すと下図のような該当車輌を表示したウインドウがでます。該当車輌の行、左端にある選択ボタンを押すとその車輌の登録番号が入力できます。

<mark>園 車輌</mark>	词選択ウイ	ンドウ	×	(
選択	001		三河33ま6910 🛛 🧧	•
選択	002		三河11す4512	
選択	003		三河34と3412	
選択	004	サービス1号車	東三河88や913 -	_
選択	005		三河52の7216	
選択	006	1962	東三河88か1962	
選択	007	1459	東三河88か1459	
		キャンセル		-
レコード	: II I I	1 ▶ № № / ′		

年月 点検、車検、事故、修理などの実施年月日。yyyy/mm/dd 形式で入力します。 記録 実施内容や交換部品の入力

分類 コンボボックスから選択します。選択する項目の登録追加変更は「マスター 管理」「システムデータ」「保守点検分類」で行います。

金額かかった費用を入力します。

走行距離 その履歴が発生したときの距離メーターの値を入力します。

支払先 その費用を払った相手支払い先を選択します。支払い先は「マスター管理」 「システムデータ」の「支払先コード」で追加、変更できます。

納品書、請求書費用に対するそれぞれの書類があるか、ないかをYes、No選択します。 履歴が多い場合は右端にあるスクロールバーで上下に移動できます。 **整列ボタン** このボタンを押すと日付の若いデータ順に並べ替えます。

追加ボタン このボタンを押すと空白の新規行に移動し、日付欄にカーソルが点滅します。
 削除 履歴エリアの削除したいデータ行の左端にある灰色のレコードセレクターを
 押してからキーボードの Delete キーを押します。確認メッセージはでません。削除したデー
 タは復元できませんので慎重に行なってください。

画面下部の機能ボタン説明。【】の中は対応するファンクションキー名です。

追加【F2】 新規入力行に移動します。

削除【F3】 マウスカーソルでクリックした行を削除します。削除する前に確認メッセージがでます。

編集【F4】 マウスカーソルでクリックした車輌の画面を表示します。

閉じる【F8】 メインメニューにもどります。

	開給月 5 2008/08	701 + ~ *7	7月 E 2006/06/30		は選択していな べてが対象です。	
	日付範囲を木年度(日付範囲を今月(こ	ロする 日付は する 日付は	砲囲を前年度にする 「範囲を前月にする			
集計個一	opy 書師別1	GETません	SED 주차 부위	NUTSH AA		
	SEV 車輛別期間	支出計のみ A4	SEP 支払先別期間	1支出計のみ 44		
個別植一	SEV 車輛房旗的	夏歷支払先順 A4	SEV 車輛別期間	双座日付加 44		

メインメニューから「車輌管理」「集計帳票選択」を選択すると下図を表示します。

集計の開始月、終了月は初期値で前月を表示します。初期値で表示する月をシフトさせるには「マスター管理」「システムデータ」「システムパラメーター」で示されるリストの 11 の値を 変更します。前月であれば-1、今月であれば 0、前前月なら-2 というように値を変更でき ます。

コマンドボタンの S、E、V、P の記号は該当記号のある選択項目で範囲や対象を指定します。 S は開始月の指定が必要、E は終了月。ただし P と V は選択すればそのデータのみとなり、 空白にしておけば対象すべてということになります。

開始月と終了月は直接日付を入力することもできます。また+-ボタンで一月ずつアップダウンすることもできます。「日付範囲を本年度にする」などのボタンを押すと開始終了の範囲を 同時に所定の範囲に変更できます。

車輛別期間支出車輛別でさらに支払先別に金額合計と履歴件数を印刷できます。支払先別期間支出支払先別でさらに車輌別に金額合計と履歴件数を印刷できます。車輛別期間支出計のみ車輌別に金額合計と履歴件数を印刷できます。支払先別期間支出計のみ支払先別に金額合計と履歴件数を印刷できます。支払先別期間支出計のみ支払先別に金額合計と履歴件数を印刷できます。支払先別期間履歴支払先順車輌別に履歴の内容、金額、納品書、請求書有無を印刷できます。車輛別期間履歴日付順車輌別に履歴の内容、金額、納品書、請求書有無を印刷できます。車輛別に履歴の内容、金額、納品書、請求書有無を印刷できます。

画面下部の機能ボタン説明。【】の中は対応するファンクションキー名です。 閉じる【F8】 メインメニューにもどります。

第4部

運転走行管理

4.1 運転走行入力

メインメニューから「運転走行」「運転走行入力」を選択すると下図を表示します。

	入りお説明メッチーン スクロマルハー													
運転走行入力	 2003/06/17 日分 オー	イル補給量 を入力してください		^										
No 26 走行日 荷主	運行種類,商品	荷姿、数量 出発地	到着地 1 大阪店	通行料										
<u>削除</u> 車輌 出発メーター	到着メーター 開始時刻 約		走行タイプ 燃料タイン 補給	量オイル補給量										
<u>東三河40り7852 </u> 1626	1749 123 4:00	9:48 5.80 富山仙台男												
No 28 走行日 荷主 2003/06/16月 <mark>架空荷主</mark>	運行種類、商品 ・ 、 食品 ・ 『	荷姿、数量 出発地 車	● 到着地 ・ 会社	通行料 <u>0</u>										
	到着メーター 開始時刻 終		走行タイプ 燃料タイプ,補給	量 オイル補給量										
No 29 走行日 何王 2003/06/16月 <mark>架空荷主</mark>		何姿、	<u>到</u> 着地 <u></u> 会社	通行科										
削除 車輌 出発メーター : 西三河33ま6910 - 110	到着メーター 開始時刻 A 0 0 14:00	冬了時刻 運転手 .00 <mark>運転者不明</mark>	走行タイブ 燃料タイブ,補給 ■ 実車 ■ 軽油 ■	量 オイル補給量 0 0										
No 30 走行日 荷主	運行種類 商品	荷姿 数量 出発地	到着地											
2003/06/17火 架空荷主			· 会社											
前除 車輌 出発メーター 注 東三河88か1365 ・ 0	到着メーター 開始時刻 & 0 0	冬了時刻 運転手 .00 <mark>運転者不明</mark>	走行タイブ 燃料タイブ,補給	量 オイル補給量 0 0										
追加削除		■ 閉じる												
	0		1. A 96 A											

画面が開くと新規データの入力モードになります。入力欄は2行に分かれています。薄緑色の エリアは自動計算するデータを表示するだけで入力はできません。過去のデータを見る場合は スクロールバーで上に移動させます。

最上段右側にはマウスカーソルのある入力窓の内容を説明するメッセージを表示します。

入力窓のうち基本的に決まっている項目は初期値が表示され、入力の手間を省いています。 これら初期値は他のデータを入力すると確定しますが後で変更できます。

ほとんどの項目はコンボボックスで選択するだけですがメーター値、時刻、数量、燃料補給 量、オイル補給量、通行料は数字をいれます。

出発メーター、到着メーター メーターの読み値を入力します。どちらの値もゼロだ と到着メーター読み値入力後ブザーが鳴り、下記メッセージを表示します。



この場合「OK」ボタンを押してからそれぞれの読み値を入力してください。これは走行記録 にとってメーター読み値が最も重要なデータであるため未入力ミスをふせぐためのものです。 開始時刻、終了時刻 運転開始と終了の時刻を入力してください。これも終了時刻入力後、 データがない場合、ブザーが鳴り次ページのメッセージがでます。その後の操作はメーターと 同様です。

また時刻とメーター値が未入力のまま次の日報データ行に移動すると上記2つのメッセージがブザー鳴動につづけて表示します。

運転者、車輌 これらは初期値が「運転者不明」「車輌不明」と表示しますが必ず正

しい運転者、車輌を選択入力してください。**配送先**必ず入力してください。



画面下部の機能ボタン説明。【】の中は対応するファンクションキー名です。

追加【F2】 新規登録行に移動します。

削除【F3】 表示している行データを削除します。削除する前に確認メッセージがでます。 **左右の矢印【F6**,7】 前後の画面に移動します。

閉じる【F8】 メインメニューにもどります。

4.2 検索·帳票

メインメニューから「運転走行」「検索・帳票」を選択すると下図を表示します。

	土発地 運動手 燃料タイプ
<u> </u>	

入力した項目を検索条件としてデータの検索をします。画面下部の「実行」ボタンを押すと検 索を開始してその結果を下の画面に表示します。なにも条件を設定せずに「実行」するとすべ てのデータを表示します。

	<u>この時間でテージ</u> 連行権 - 判定メーター	空気はできません 「鉄商品」 (開始行動」 終了時		日発地 型 日発地 型	<mark>急い。</mark> 唐地 タイプ 次和タイプ 福谷	<u>通行社</u> 電灯イル報報	 100
2001/04/23月 傑李荷主 三河11<3458 1	-)@#F	·中 116 400	1024 6.40	干膳店 里中新大的店	高い南山湖 日 町刻 日 卓美 日		0
2001/04/23月 標空荷主 三河40り7552 🕑	_ 汽品 1823 1750	 124 400	954 5.90	味家店 「當山化哲男」	 ● 1115 ● 115 ● 115 ● 115 	2 2)	0
2001/04/23月 傑空荷主 三河4097852 💽	一)算品 1626 1749 1 1749 1 1749 1 1749 1 1749 1 1749 1 1749 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	- ≢ 123 4.00	9.48 5.80	難波店 第111日第	・ 大阪店 - 英平 - 解消	년 1 이	0
2006/06/16月 探空荷主 三河11月4512 💽	유요[] 0] 0	本 0		会社 運転岩不明	- 1931 - 1955 - 1955 - 1955 - 1955 - 1955 - 1955 - 1955 - 1955 - 1955 - 1955 - 1955 - 1955 - 1955 - 1955 - 1955 - 1955		0
2006/06/16月 傑空前主 三河33ま65 10 💽	● 廃品 110 0 0 0	▲ 0 1460	0	会社 運転者不明	・ (会社 1) 使車 」 (軽油	<u>।</u> ज्ञा	0
2006/06/17火 傑空侍主		<u> </u>		会社	- (\$4)	<u>.</u>	-
450		1.02				-	

画面下部には帳票の種類が表示されています。印刷したい帳票の名称ボタンを押すと印刷ブレ ビューを表示します。それを印刷する場合には右上にある「マァートツールバー」で印刷アイ コンを押すと印刷します。 **印刷アイコン**



4.3 月間集計

メインメニューから「運転走行」「月間集計」を選択すると下図を表示します。

	月間集計表選択		
	れ、Gyyy/mm形式) 2001/	 	
月間走行日報	走行燃料消費量	運転者別	配送先別
	車報経費合計		
		開いる	

何月の集計表を印刷するのか指定する窓がありますので、西暦4桁と月数を yyyy/mm 形式 で指定してください。(例 2000年1月なら 2000/1とする)

「集計年月」のタイトルをマウスでクリックすると年月窓のデータがリバース表示になるの で直接入力してください。または+、-ボタンで年月を増減してください。初期値では当月を 表示します。

印刷したい集計表のボタンを押すと印刷プレビューがでます。そのまま印刷するなら印刷ア イコンをクリックしてください。

画面下部の機能ボタン説明。【】の中は対応するファンクションキー名です。

閉じる【F8】 メインメニューにもどります。

4.4 年間集計

メインメニューから「運転走行」「年間集計」を選択すると下図を表示します。

年間集計表選択 *#1/3 4/26周8(桁で指定して ください。(500)の第50	
集計年 2000 -	
(正確認意志なた) (正確認意志なた)	
MUS	

何年の集計表を印刷するのか指定する窓がありますので、西暦4桁で指定してください。(例 2000年なら 2000とする)

「集計年」のタイトルをマウスでクリックすると年窓のデータがリバース表示になるので直 接入力してください。または+、-ボタンで年を増減してください。初期値では当年を表示し ます。

印刷したい集計表のボタンを押すと印刷プレビューがでます。そのまま印刷するなら印刷アイ コンをクリックしてください。

画面下部の機能ボタン説明。【】の中は対応するファンクションキー名です。

閉じる【F8】 メインメニューにもどります。

第5部

予定・実績

5.1 概要

メインメニューから「予定・実績」で選択する項目は週間予定表、月間勤務予定表、運転便 数実績表ですがこれらのデータは予定と実績で内容は似ていますがそれぞれに関連はありま せん。データが共通化するとかとかコピーできるものではありません。

週間予定表 1週間の便数予定や配車予定を管理するものです。

月間勤務予定表 運転者の月間勤務の予定表です。主に休日や勤務シフト等を入力し、 勤務者の人数の管理や休日スケジュールを管理する表を作成します。

運転便数実績表

勤務者の八級の管理や休口スクシュールを管理する表を1F成します。 社内的または特定契約先への提出用として日々の運行実績の記録に 使用します。1ヶ月分まとめての印刷等を実行できます。

予定パターン 上記のうち週間予定表と運転便数実績に入力するデータの基本パタ ーンをつくり一括投入により同一入力やよく似たパターンの入力を いちいち入力する手間を軽減する一括入力補助機能を提供します。 できうるかぎり予定パターンを数種類作成して、そこから選択投入す ることを効率向上の観点から推奨します。

44

5.2 週間予定表

 週間予定リスト

 丁葉電号、開始日付
 タイブ
 供告
 パターン番号

 17
 2000/11/28 次
 2日
 2

 野田
 16
 2000/11/28 次
 2日

 野田
 15
 2000/11/28 次
 2日

 野田
 14
 2000/11/28 次
 2日

 野田
 13
 2000/11/28 次
 2日

 野田
 13
 2000/11/28 次
 2日

 野田
 12
 2000/11/28 次
 2日

 野田
 11
 2000/11/28 次
 2日

メインメニューから「予定・実績」「便数週間予定」を選択すると下図を表示します。

この画面では過去に作成した週間予定表のタイトルを最新のものが一番上にくるように一覧 表示します。

予定表編集 すでに作成した予定表の変更をするときは選択したい予定表の行にある「詳細」ボタンを押すか、マウスを置いてから機能ボタン「**編集**」を押します。するとその予定表 を表示して変更できます。

新規予定表作成機能ボタン「新規」を押します。すると下図のようなメッセージがでます。



予定パターンモデル(3.4 項で説明します。)からどれかの基本パターンを選択して予定表を作る場合は「はい」を選択します。するとパターンリスト画面を表示します。予定パターンモデルを選択し「予定」ボタンを押すとそのデータで作成された予定表作成画面に移動します。 手動で作る場合は「いいえ」をおしてください。予定表作成画面がでます。

いずれにしろ予定表作成画面が表示されデータの作成、追加、変更ができます。次項で予定表作成画面の説明をします。

画面下部の機能ボタン説明。【】の中は対応するファンクションキー名です。

- 新規【F2】 新規登録行に移動します。
- 編集【F4】 マウスカーソルのある行の予定表を表示します。
- 閉じる【F8】 メインメニューにもどります。

予定表作成画面

画面上部に共通項目を表示します。

j	固間予定	定表	予定番号	16	バターン	2		
開始日付	↓最初に開 2000/1	第6日付き入力して 1798-2	র্থেন্টে। কর্মনা জ্বা	-	備考 月-水型	準パターンA		
<u>車約</u> 1使配送先1	2	<u>運転手</u> 2使航送:	<u>運転手</u> 未1 2	International In			(), 1 2	÷
東三河 88か 領部所	1952 ₩.86	日中坂一次 国籍波馬	「アメリカン大郎」 「「アメリカン大郎」 「王将に」	3回 アメリカン 国営務店	大郎 - 田中坂 三高浜店	一浪 <mark>一 行</mark> 回任日第	● 116 ● 千潟店	削除
東三河aat/ 東京店	1852 ·····大阪店	■ 東京日本機的 ■ 千億店	IFメリカン大都 回転日南北店	1.1 アメカン	大師 🕑 (アメ)カ 三 (東京店	レ太郎 J 行 J 前田後和	·····································	前除
東三河88か 大阪店	1862]千渡信	 ・ ・ 加沢店 ・ 加沢店 ・ 加沢店 ・ 加沢店 ・ 加沢店 ・ ・ 加沢店 ・ ・ ・		▶□ 第川アル ■桃山南北は		レバイトラー <mark>行</mark> 回渡津店	· 116	ADR
東三河88か 卒日店	1355 <u>-</u> 운동	 ・ ・ ・		FE フリーター 国際語店	回的 <u>- フリー</u> タ - 人がら	四郎	西督 11 9	州除
東三河1143 私山南北店	1468 三前田録る1	」 里中敬太郎商 山店 国 瀬戸店	Ⅰ回 フリーター回射 ■ 難渡店	■ ■ 「 」 「 」 「 」 「 」 「 フリーター 」 「 フリーター	四印 · 里中乾	大卸商JII 行 II 大麻酒	書番 120 ▲ 大阪店	前10年 -
東三河40月 桃山南北店	7852	· 演山仙台男 · ?#\$7店		 「無しれた 「知立店 	男 🔄	<mark>回</mark> 行	■型 121 王 千 遼信	iii Dib -
東三河40月 錦湖店	7852 21		□ 田中坂一浪 ■ 平田店	 意し他台 前田段ろ山 	<mark>男 回 同山仙</mark> 広 回	6男 <mark>一 行</mark> 回桃山南北	문답 122	削除
	 	(มี่อา/7						aw 1 🖄
	1	106	ELENA L EL	308	BACKS		1	_

予定番号

自動発番される一連番号で変更はできません。

開始日付 この予定表を使用する日か使用する週の開始日を記入します。

タイプ 半日タイプか全日タイプか選択します。半日タイプにすると下図のように運 行パターンが2便タイプ4配送先型になります。

週間予定表	予定番号 16	パターン 2
↓最初に開始日付を入力して 開始日付 2000/11/28 火	ください タイプ 洋日	備者 月-水寨軍/1次>A
単額 建数手 1便酒記送先1 2 2(短記送先) 第三河88か1962 1 田中坂一道 難波信 東京店 1	運転手 計 2 ■ アメリカン太郎 ■ ■ 予想店 ■	
陳三河88か1852 · 東京日本橋朝 東京店 · 大阪店 · 干藤店	 アメカン太郎 「怒山南北兵」 	行連番 117 11時
東三河98か1862 ■ 国川アルバーイト 大阪店 ■ 千穂店 ■ 戦波店	 ・ ・ ・	行連番 118 前時
陳三河88か1805 · ■ 第川アルハイト 李田信 · ■一色店 · ■大府店		行連番 119 前版
陳三河1143456 <u>■</u> 里中設大部商 秋山南北区 ■ 前日後ち山区 ■ 溝戸店		行連番 120 前時
陳三河4057852 · ▲山仙台男 縦山南北宮 · · · 神戦店		行連番 121 前限
	○ 田中坂一渡 ○ ○ 平田広 ○	行連番 122 加除
	-11	and and the second of the
ill#	EDRIA EDRUB	開いる 走行

備考

メモなどを記入します。

運行パターン登録

1台の車輌に対して4便8配送先の設定ができます。それぞれの便では2つの配送先と一人の 運転者を指定できます。第1便の運転者を指定すると他の3便も運転者が未記入の場合のみ 同じ運転者がコピー登録されます。

ある運行パターン行を削除する場合にはその行の削除ボタンを押すと確認メッセージの後、削 除されます。削除したパターン行の復元はできません。

画面下部の機能ボタン説明。【】の中は対応するファンクションキー名です。

- 削除【F3】 現在表示している予定表全体を削除します。
- 印刷 A【F4】 現在表示している予定表の印刷プレビューを表示します。Aタイプ
- 印刷 B【F5】 現在表示している予定表の印刷プレビューを表示します。Bタイプ
- 閉じる【F8】 画面を閉じ、週間予定リスト画面にもどります。

なおこの予定表で運行パターン行がいくつあり、今カーソルのあるのが何行目かは左下のレコ ード移動ボタンでわかります。



予定パターン作成 5.3

毎回、予定表に手動で入力するのはめんどうな場合、一定パターンの予定表のひな型、モデ ルを複数作っておいてこのモデルを本来の予定表に写し込むと作業が楽になります。このモデ ルパターンをここでは**予定パターン**と呼びます。

予定パターンにはすべてを登録することもできますが、車輌だけ未記入の予定パターンや運 転者だけ未記入の予定パターン、車輌のみの予定パターン、配送先のみの予定パターンなどさ まざまな予定パターンをつくることができます。

メインメニューの「予定・実績」「予定パターン作成」を選択すると、パターンリスト画面が あらわれ、作成済みのパターンのタイトルが一覧表で示されます。

番号 //	ターン名称	タイプ	備考
2 77	4	全日	(ing)
1 112	8禁止	全日	最低(行分データがないと画面を開け) 印刷
	i		
	作成日(1)。2014/04/25	作成するた。 授入ボタンペ	かり日本を入力してから EWLでください。
	作题目付 2014/04/25 運動使数日常実績へ投入	作成するた 後入ボジン	

予定パターン編集

すでに作成した予定パターンの変更をするときは選択したい 予定パターンの行の詳細ボタンを押すか、その行にカーソルを置いてから機能ボタン「編集」 を押します。するとその「パターン作成」画面に予定パターンを表示して変更できます。

印刷ボタン 予定パターンの行でその行の印刷ボタンを押すと予定パターンの内容の印刷 プレビューがでます。

新規予定パターン作成 機能ボタン「新規」を押します。すると新規の「パターン作成」画面 が現らわれます。

「パターン作成」画面は次項で説明します。

作成日付 予定パターンを投入するときの日付を指定するために使用します。た とえばある週の週間予定を作成するとき、その週の月曜日を指定するなどの用法があります。 運転便数日誌へ投入 作成日付を押して日付を指定してからどのパターンを投入するかパ ターン番号をクリックします。そしてこのボタンを押すと運転便数日誌にパターンデータ全体 が一括投入されます。

週間予定表へ投入 作成日付を押して日付を指定してからどのパターンを投入するかパ ターン番号をクリックします。そしてこのボタンを押すと週間予定表にパターンデータ全体が 一括投入されます。

画面下部の機能ボタン説明。【】の中は対応するファンクションキー名です。

新規【F2】 新規パターン入力画面になります。

編集【F4】 マウスカーソルのある行のパターンを表示します。 閉じる【F8】 メインメニューにもどります。

成するための流し込み実行ボタンです。

予定パターン作成

<mark>車柄</mark> 運転者1 1便配	展記 勝臣	ानःश्वरुः —१८ 2	18	図 運転者2 2便配 田社	基準距離 勝飛一郎 送先1 王ン	2 (7	0 運転者 ②使	基準時間 13 「 配送先1 回	2	T T T	行連番 運転者4 4便配	》 送先1 回	11158
中語 運転者1 1便配の 帰宅	東 回加 送先1	-> 188/DP 転勝一郎 2 難波店	1865	国 運転者2 2便配。 14日館	基準定制 山の1983勝 送先1 国 前田	E 一郎 回 2 B猿ろ山 <u>■</u>	0 उम्हेड अन्नि	基準時間 13 回初勝期 配送先1 回 「	- ●●郎 2	0	行連番 運転者4 4 便配。	2 山辺孫勝- 送先1 国	<u>前U符</u> 一郎 三 2
<mark>車柄</mark> 運転者1 1便配	 	2	2	」 運転者2 2便配	基準距離 	2	0 通報者 3例	基準時間 13 13 13 13 14 15 16 16	2	o I I	行連番 運転者4 4便配)	フバー) 	1102 2

パターンリスト画面から「新規」「編集」のどちらかを選ぶと新規か作成済みかの 「パターン作成」画面があらわれます。

パターン番号 自動発番される一連番号で変更はできません。

パターン名称 この名称は必ず作成済みのパターンとは異なる名称をつけてください。(パターンを予定表に流し込むときこの名称で識別するため。)また最初に記入してください。

タイプ新規を選択したときは全日タイプが選ばれています。必要に応じて変えてください。

運行パターン行 週間予定表と操作は同じです。

<mark>車輌 東三河88か145</mark> 9	Э J <mark>基準距離</mark>		<mark>行連番</mark> 4 削除
<mark>運転者1</mark> フリーター四郎 <u>・</u>	<mark>運転者2</mark> フリーター四郎 💽	運転者3 アメリカン太郎 💽	運転者4 アメリカン太郎 💽
1便配送先1 2	2便配送先1 2	3便配送先1 2	4便配送先1 2
出社 ・ センター ・	東京店 💽 大阪店 💽	「難波店 🔄 千膳店 💽	仙台館 💽 桃山南北店・

基準距離(標準所要距離)と基準時間(標準所要時間)もなるべく記入しておいてください。削除 ボタンを押すとその行全体を確認メッセージの後、削除します。

画面下部の機能ボタン説明。【】の中は対応するファンクションキー名です。

削除【F3】 表示しているパターンの全体を削除します。

印刷【F5】 表示しているパターンの印刷プレビューを表示します。

閉じる【F8】 予定パターンリストにもどります。

49

5.4 月間勤務予定

作成/表示

年月の指定で設定した月のデータを表示させるボタンです。指定した月のデ

ーデ	 表示月 2003/06 エリア削除 						Ż		年月	の指	諚		2003,	/06	+	· ·	作成	/表示	R		
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	火	水	木	金	土	Β	月	火	7K	-	金	±	Β	月	火	水	木	金	土	Β	月

表示月 画面下部のデータが何年何月の分を表示しているかをあらわします。

表示すると日にちと曜日を上下に表示します。入力エリアの K01、K02、K03・・が1日、2 日、3日・・という日付をあらわしています。(小の月でも31日まで表示します。)

ある入力枠(セルと呼びます。)の右にある三角ボタンをマウスでクリックすると左図のよう に入力項目がプルダウンされます。この入力項目は「マスター管理」「システムデータ」「勤務 コード」の欄で作成変更できます。そこで作成した勤務略称がここに表示されます。勤務略称 は6文字以内なら表示印刷できます。



エリア削除 表示月の右横にあるボタンで現在表示している月の データ全体を削除することができます。ボタンを押すと確認メッセー ジの後、削除します。削除したデータは復活することはできません。 再度、作成/表示ボタンで年月を指定して作成します。

また表示される運転者は「マスター管理」「システムデータ」「運転者 コード」の欄で作成変更できます。そしてそこで表示順序という欄に

入力した番号順でここに表示します。表示順序の番号は連番でなくても飛び飛びの値でもかま いません。また表示許可にチェックがいれてある運転者しか、予定表では表示しません。

表示順序	運転者コード	運転者名	長示許可
	000	運転者不明	
17	001	勝修一郎	
16	002	山加藤勝一郎	
15	003	アメリカン太郎	
14	004	田中坂一浪	
13	005	桧 松杉雄	
12	006	富山仙台男	
44	007	神奈川神戸	
43	010	東京日本橋朗	
42	011	ジャスト到着サービス	
41	010	甲中勤大郎帝庄	

マァート・ハイシステム有限会社

機能ボタン追加 運転者を「システムデータ」「運転者コード」で追加した場合、すでに作成済 みの予定データには追加されていません。この運転者月間予定リスト画面下部の機能ボタン 「追加」を押して追加できます。押すと左図がでます。追加したい運転者の選択ボタンを押す と追加されます。この場合、すでに予定データに存在する運転者は二重登録になるのでメッセ ージがでて追加できません。

🕮 運転	者選択	ラインドウ		×
運転者	デュート	表示順	圓序	
選択	001	17	勝修一郎	
選択	002	16	山加藤勝一郎	
選択	003	15	アメリカン太郎	
選択	004	14	田中坂一浪	
選択	005	13	桧 松杉雄	
選択	006	12	富山仙台男	
選択	007	44	神奈川神戸	
選択	010	43	東京日本橋朗	
選択	011	42	ジャスト到着サービス	
選択	012	41	里中敏太郎商店	
選択	100	33	架け橋二郎三郎	
選択	101	32	フリーター四郎	
選択	102	31	富川アルバイト	
選択	103	11	森屋林太郎	
		キャン	セル/閉じる	Ţ
レコード	. II I	1	4 d di d d d d d d d d d d	<u> </u>

画面下部の機能ボタン説明。【】の中は対応するファンクションキー名です。
追加【F2】 新たに登録した運転者データを予定表に追加するとき使用します。
削除【F3】 この月の予定データでカーソルのある行の運転者データを削除します。
印刷A4【F5】 A4 サイズでの印刷プレビューを表示します。
印刷A3【F6】 A3 サイズでの印刷プレビューを表示します。
閉じる【F8】 メインメニューにもどります。

マァート・ハイシステム有限会社

5.5 運転便数入力

メインメニュ	-7.	ドウ	「了足・	- 夫領」	「運転便	釵八刀」	を悪択り	つと	「凶を衣져	示しよ
		運転便	製日誌一覧		印刷年月の指定	2000/06 +				
		日誌番号	日誌日付	供考	月別日誌一話印刷S便		»便			
	詳細	41	2000/12/19/火			1.1				
	群組	33	2000/12/11/月			-				
	詳細	40	2000/11/30/木							
	許細	37	2000/11/29/7K							
	詳細	86	2000/11/29/7枚							
	許細	29	2000/11/29/7K							
	詳細	28	2000/11/29/7k							
	詳細	30	2000/11/18/土			-1				
	詳細	38	2000/11/15/7k							
	許細	39	2000/11/10/金							
		新	起 編集	1	网	10				

メインメニューから「予定・実績」「運転便数入力」を選択すると下図を表示します。

ここではすでに作成された運転便数実績日誌のリストを表示します。

既存の運転便数実績日誌を見るにはその行をマウスでクリックしてから「編集」ボタンを押します。新しい運転便数実績日誌を作成するには「新規」ボタンを押します。

編集か新規ボタンで入力済みか空の運転便数実績日誌画面を表示します。

印刷年月の指定 次の月別日誌一括印刷のための年月指定用です。

月別日誌一括印刷5便指定した月1ヶ月の日誌を連続してすべて印刷します。この場合、運転便数実績日誌の1から5便分までを印刷します。便数の少ない形態の事業所用です。

月別日誌一括印刷8便指定した月1ヶ月の日誌を連続してすべて印刷します。この場合、運転便数実績日誌の1から8便分まですべてを印刷します。

新規運転実績日誌作成機能ボタン「新規」を押します。すると新規の「運転便数実績」画面 が現らわれます。(次項で説明します。)

画面下部の機能ボタン説明。【】の中は対応するファンクションキー名です。

- 新規【F2】 新しい空の運転便数実績画面を開きます。
- 編集【F4】 カーソルのある行の運転実績日誌を表示します。
- 閉じる【F8】 メインメニューにもどります。

運転便数実績日誌

運転便数	t日誌 Bit	불용 🗾 41					
日誌日1寸 2000/1	2/19/水	信告	Г				
車輛 1(用記送先 2(用記 東三河88か1982		 ※禁時参 備考 4(映晶6送先 15:44 	<u>5快86送先</u>	<u>6快都送先</u>	7	史創び送先 <u>2</u> 使創 行注語 239:	び送先 2 <u> AI</u> 除
			Theme	الك		100 A	
東京店 国大阪店		回期山南北店	・大阪店	<u>.</u>	F	11.0047 Z.39.	-
東三河86か1862 大阪店 回千膳店		13:45 國際設法	国期山南北店	I		行連番 239- 3	4 AIR:
東三河88か1385 東日店 」 一色店		」 回じ ほ	国周浜店		-	行連番 239: 三	- <u>AIR</u>
[東三河11K3456]] 桃山南北店 ▲前田後	・ 厚中敵太郎商・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	≤開設店	⊴難波古	1		行連番 2396 三	ā <u>∦ife</u>
東三河40以7862 桃山南北店 ・	 「富山仙谷男」 神野店		國知应店	3		行連載 2391 上	Alba
東三河40 ¹ 97852] 難波店 <u>1</u> µ□→5 H 1 1	· 富山仙岩男 - 三 - 三 - 1 町 1477	三陸市店	■前田後ろ山。	<u>5</u> 기	×	行連截 2398 	alla •
	alf#	61.1115使 61.11	18/10	14U3			

ここでは1日にひとり1台あたり8便までの行き先データを入力できます。

車輌	運	転手 á	冬業時刻 備考					
1便配送先	2便配送先	3便配送先	4便配送先	5便配送先	6便配送先	7便配送先	8便配送先	
東三河88か	1852 - 東	京日本橋朗	14:23			· 行連番	2393 削除	
東京店	・大阪店	」「千膳店	• 桃山南北店	・大阪店	-	•	· /	
					スクロ	-ルバ -		

車輌と運転者を選択します。1から8便までの配送先を選択します。配送先は「マスター管理」 「システムデータ」「配送先データ」で作成変更したデータがプルダウンされます。

終業時刻欄には終業時刻を記入します。

あるデータ行を削除する場合には削除するデータ行の削除ボタンを押します確認メッセージ の後、削除されます。一旦削除したら復活はできません。1日のデータ全体を削除する場合は 削除ボタンを押します。その場合確認メッセージがでます。

画面下部の機能ボタン説明。【】の中は対応するファンクションキー名です。

削除【F3】 表示している実績データ全体を削除します。

印刷5便【F5】1から5便分までの印刷プレビューを表示します。便数の少ない形態の事業所用です。

印刷8便【F6】 すべての便の印刷プレビューを表示します。

閉じる【F8】 一覧画面にもどります。

第6部

記録帳

6.1 概要

運営記録、生活記録、報道の記録、雑誌等での参照すべき号数とページの記録等、文書デー タならなんでも記録できます。フリーキーワードでの検索、分類、出典コード、日付での検索 もできます。

6.2 データ入力

【 <u>記録ナータ人力</u> 】 録日付 2003/08/12 木			
類 事件、事実の記述			
典 - 和	<u> </u>		
月号 <u>ベージ</u> [
作ル/キーワード			
7890790022 57			
こう3年間の契約			
こうな年間の契約			
こうの年間の契約			
こうの年間の契約			
こうな年間の無わ			
こうな年間の無わ			

登録日付 自動で本日の日付がはいります。入力は西暦で 1998/8/5 か 98/8/5 という書 式でいれてください。

分類 コンボボックスを押すとリストを表示しますのでマウスカーソルで選択して ください。

出典 コンボボックスを押すとリストを表示しますのでマウスカーソルで選択して ください。

年月号、ページ出典が雑誌の場合、号数とページ番号をいれてください。

タイトル/キーワード 適当にいれてください。漢字で25文字まではいります。

内容 漢字で約 32000 文字はいります。枠の右側にスクロールバーがあり、順次表示できます。

整理番号 自動的に発番されます。変更はできません。

6.3 データー覧表

登録されたデータを画面にリストで表示します。カーソルのある行で「編集」を押すとそのデ ータ画面にとびます。 日付、分類、出典、タイトル内容で検索し、リストで表示します。 条件を設定してから「**実行**」ボタンを押してください。なにの条件も設定せず実行するとすべ

記録データ検索	検索条件の項目にデータを入力してください
日付	日付での検索書式について 年で検索 西暦4桁 yyyy
	月での検索 /mm/ (前後に/をつける) 日での検索 dd+ (後に+をつける)
内容/タイトル/キーワード	日何樉寀 yyyy/mm/dd+
実 実	行 閉じる

てのデータを下図、検索結果リスト画面に表示します。

検索結果リストではカーソルのある行で「**編集**」を押すとそのデータ画面にとびます 下部に帳票のボタンがあります。各ボタンを押すと印刷プレビューがでます。

記録 検索	案結果/帳票選	択			
日付	タイトル		内容	出典	分類
1999/01/04 新規 1999/03/08 業務	契約成立 合理化のためパソコン	向こう3年間の 増配 統合的ソフト・)契約 フェアを導入	社内 社内	運営実務 その他業務
全文出力	リスト	レポート			
	[編集]		閉じる		

必要な帳票のボタンを押してください。印刷プレビューがでますので OK なら印刷アイコンを 押してください。

6.5 分類コード、出典コード

データ入力で使用するコードの登録変更画面です。運転者マスター作成(7ページ)と操作は 同じです。

分類コード	分類名	
0.	分類不明	
57	冠婚五祭	
81	連當実務	
82	その他業務	
101	問い合わせ	
102	事件、事実の記述	-